

No.	分類	意見要旨	対応
1	① 自然環境 保全	<p>検討の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングありきで、合意形成ルールや情報発信ルールも役所目線。検証や課題認識を踏まえなければならない。単に1か月前、3か月前にホームページに載せたからいいということではない。(泉委員) ・ゾーニングやルールはつくって終わりではなく、常に皆で対話をしながら明石公園のあり方を考える場が大切。(高田部会長) ・明石公園で活動されている方々の、自然環境に関する情報を収集・整理したうえでゾーニングを考えていく必要がある。(嶽山副部会長) 	<p>【部会、今後立ち上げる協議の場において検討】</p> <p>部会において検討し作成したゾーニング図を元に、今後立ち上げる協議の場で継続して意見を取り入れ、時点更新を行います。</p>
2		<ul style="list-style-type: none"> ・樹木伐採は、多くの方々のいろんな観点があるので、あまりタイトなスケジュールでなく、丁寧にした方がよい。自然環境保全と活性化は、並行して両方やっていくという理解でお願いしたい。(泉委員) 	<p>【意見を踏まえて対応】</p> <p>自然環境保全、活性化いずれのテーマについても期限を設定することなく、引き続き丁寧に検討を進めます。</p>
3	樹木管理の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣と樹木を適切に共存させていくにあたり、木の根がどう影響するのかということ、きちんと検証をしていく必要がある。(小林委員) ・樹木管理の基準は石垣の高さによって個別に考えていくべき。(村上委員) ・樹木と石垣の関係は一律ではないため多様な対処が必要。今後は一個一個、丁寧に見ていかなければならない。(高田部会長) 	<p>【部会、今後立ち上げる協議の場において検討】</p> <p>樹木の石垣への影響については、引き続き調査検討を行います。また、今後の樹木管理については、ゾーニング図において整理したうえで、伐採が必要な場合は、樹木1本1本について丁寧に確認していくことを想定しています。今後、部会及び協議の場において引き続き検討を進めます。</p>
4	ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画は、手続きの過程にも大きな問題がある。計画の委員には明石市は入っていないにも関わらず、県のHPにはいまだに大きく掲載されており、あたかも明石市がそれを了解したかのような記者会見まで開いている。撤回するか、現在、新しい議論が始まっていることを明示してほしい。(泉委員) 	<p>【意見を踏まえて対応】</p> <p>「城と緑の景観計画」等については「過去の取組み」として整理したうえで、当部会のページともそれぞれリンクするようHPを改修しました。また、現在、明石公園部会を設置し、地元自治体等を含めて検討を行っていることを追記しました。</p>
5	② 施設 改修	<p>第一野球場の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策のためスタンドに屋根を設置してほしい。また、スタンド裏の通路が狭く危険なため、拡張や出入口を増やすなどしてほしい。(河本委員代理) ・球場周辺の園路にファウルボールが落下することが多々あるので、公園利用者の安全のため、ネットをかける対策をお願いしたい。(河本委員代理) ・バリアフリー化や安全対策は、しっかりと行っていただきたい。(泉委員) 	<p>【意見を踏まえて対応】</p> <p>建物の構造強度や法規制等の関係を踏まえながら、詳細設計の中で対応について検討します。</p>
6	議論の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・第一野球場や陸上競技場が非常に重要な施設であり、大切だという位置付けを明確にしてほしい。(泉委員) ・これまでの議論の位置付けについては、検討会の結果をどうアウトプットするかというところで今後、検討していきたいと考えている。(高田部会長) 	<p>【部会において検討】</p> <p>明石公園においては、歴史、スポーツ、自然の3つのバランスが重要という認識で一致したと考えています。検討会の議論の結果の位置付けについては今後、部会において検討を進めます。</p>

No.	分類	意見要旨	対応
7	③ こども広場 インクルーシブな場	・遊具整備は、インクルーシブな場をつくる1つの方法。インクルーシブな場をどう実現していくのかという大きな枠で議論しながら、その中で、必要な遊具について検討していけたらと思う。(高田部会長)	【今後立ち上げる協議の場において検討】 こども広場でのインクルーシブな場の実現については、整備する遊具の種類も含め、今後立ち上げる協議の場等において幅広く意見を伺いながら検討します。
8	遊具更新	・上段のスライダーをやめるとしても、既存の滑り台の辺りに同様のものをつくれなから。(泉委員)	【意見を踏まえて対応】 遊具の更新後、時間をかけて検討します。
9		・せっかく駐車場をつくるのであれば、限定的なものではなく、段階的であったとしても、近隣の理解を得ながら良い駐車場、安全な通路を整備していただきたい。(泉委員)	【意見を踏まえて対応】 先行整備する障害者用駐車場の利用状況や、地元関係者のご意見を踏まえながら、段階的な整備を検討します。
10	④ 子どもの村 伐採後の環境	・伐採する木にどういう生物が集まっているかについて、調査を行い、影響が出ないことを確認してほしい。(小林委員)	【意見を踏まえて対応】 整備にあたっては、昆虫等生物への影響についても確認しながら丁寧に進めます。
11		・切った部分に対して新たに環境の良好な場所を作っていくような発想ができれば良い。(嶽山副部会長) ・貴重な樹木や昆虫等をしっかり管理する手法として、種や挿し木等の方法で増やすという発想も取り入れることが大事。(嶽山副部会長) ・ソメイヨシノの樹勢の衰え等気になるエリアもあるかと思うので、樹木の循環も取り入れながら、それを子どもたちと一緒にやっていくのが非常に良いかと思う。(嶽山副部会長)	【部会、今後立ち上げる協議の場において検討】 伐採・剪定後の樹木の取扱いや、良好な環境の作り方については、部会及び協議の場において継続して検討を進めます。
12	インクルーシブな場	・自然環境を生かしたプレーパークのような取組みを上段広場で展開することで、インクルーシブな公園という特徴がさらに広がっていくと思う。(嶽山副部会長) ・遊具の更新だけで終わるのではなく、継続的にこの場のあり方を議論していくことをお願いしたい。(高田部会長、泉委員) ・今後は、県だけで全てのプログラムを実施するのではなく、多様な公園利用者等が、やりたいプログラムをやれるような仕組みをつくるのが大切。むしろ、県は、そういった活動をサポートするような体制が重要になる。(高田部会長)	【部会、今後立ち上げる協議の場において検討】 こどもの村でのインクルーシブな場の実現に向けては、遊具更新だけでなく、プレーパーク等ソフト面の取組み、体制づくりを含め、引き続き検討を進めます。